

# 計 算 書 類

## 第 15 期

( 平成26年 1 月 1 日から )  
( 平成26年12月31日まで )

楽天カード株式会社

# 貸 借 対 照 表

(平成26年12月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	千円	(負債の部)	千円
<b>流 動 資 産</b>	819,173,704	<b>流 動 負 債</b>	679,213,275
現金及び預金	34,376,657	買掛金	109,020,769
割賦売掛金	709,050,430	信用保証買掛金	1,253,532
信用保証割賦売掛金	1,253,532	短期借入金	190,916,996
流動化受益債権	14,607,300	一年以内償還予定の 社 債	300,000
前払費用	592,363	一年以内返済予定の 長期借入金	232,376,049
未収収益	2,261,548	コマーシャルペーパー	19,500,000
未収入金	67,720,407	リース債務	44,244
繰延税金資産	3,214,522	未払金	50,191,796
その他	1,845,537	未払法人税等	2,110,069
貸倒引当金	△ 15,748,594	未払費用	990,082
<b>固 定 資 産</b>	34,565,919	預り金	64,796,223
有形固定資産	2,356,996	割賦利益繰延	1,307,525
建物及び建物附属設備	233,423	前受収益	64,658
器具備品	1,891,712	賞与引当金	318,385
土地	197,534	債務保証損失引当金	1,072,904
リース資産	29,217	ポイント引当金	4,937,139
貸与資産	5,108	その他	12,898
無形固定資産	25,830,364	<b>固 定 負 債</b>	119,786,441
ソフトウェア	1,699,239	社 債	750,000
ソフトウェア仮勘定	2,194,875	長期借入金	118,113,090
リース資産	42,276	リース債務	33,131
のれん	21,865,764	利息返還損失引当金	637,486
電話加入権	28,207	預り保証金	234,515
投資その他の資産	6,378,558	資産除去債務	18,216
投資有価証券	2,312,739	<b>負 債 合 計</b>	798,999,717
関係会社株式	1,596,275	(純資産の部)	
固定化営業債権	5,179,823	株 主 資 本	53,907,464
関係会社出資金	3,000	資 本 金	19,323,830
長期前払費用	22,913	資 本 剰 余 金	11,822,283
敷 金	165,096	資 本 準 備 金	11,822,283
差入保証金	241,570	利 益 剰 余 金	22,761,351
繰延税金資産	1,471,089	その他利益剰余金	22,761,351
貸倒引当金	△ 4,613,949	繰越利益剰余金	22,761,351
		評価・換算差額等	832,442
		その他有価証券評価差額金	832,442
		<b>純 資 産 合 計</b>	54,739,907
<b>資 産 合 計</b>	853,739,624	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	853,739,624

# 損 益 計 算 書

〔平成26年 1月 1日から  
平成26年12月31日まで〕

科 目	金 額	金 額
	千円	千円
営業収益		
包括信用購入あっせん収益		84,029,762
個別信用購入あっせん収益		239
信用保証収益		13,095,368
融資収益		8,514,426
リース売上利益		
リース売上収入	227,762	
リース売上原価	88,814	138,947
その他の収益		27,781,811
金融収益		
受取利息	12,843	
受取配当金	46,479	59,323
合 計		133,619,880
営業費用		
販売費及び一般管理費		117,840,848
金融費用		
支払利息	3,883,892	
その他	964,088	4,847,980
合 計		122,688,828
営業利益		10,931,051
営業外収益		
雑収入	98,735	98,735
営業外費用		
雑損失	36,213	36,213
経常利益		10,993,573
税引前当期純利益		10,993,573
法人税、住民税及び事業税	2,520,816	
法人税等調整額	1,880,737	4,401,553
当期純利益		6,592,019

## 株主資本等変動計算書

〔平成26年1月1日から  
平成26年12月31日まで〕

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	
	千円	千円	千円	千円
平成26年1月1日残高	19,323,830	11,822,283	16,169,331	47,315,445
当期変動額				
当期純利益			6,592,019	6,592,019
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				-
当期変動額合計	-	-	6,592,019	6,592,019
平成26年12月31日残高	19,323,830	11,822,283	22,761,351	53,907,464

	評価・換算 差額等	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	
	千円	千円
平成26年1月1日残高	732,284	48,047,730
当期変動額		
当期純利益		6,592,019
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	100,158	100,158
当期変動額合計	100,158	6,692,177
平成26年12月31日残高	832,442	54,739,907

## 個 別 注 記 表

### 【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

#### 1. 資産の評価基準及び評価方法

##### 有価証券の評価基準及び評価方法

##### その他有価証券

時価のあるもの…………… 決算期末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの…………… 移動平均法による原価法

子会社株式…………… 移動平均法による原価法

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

建物及び建物附属設備…………… 定額法

器 具 備 品…………… 定額法

リ ー ス 資 産…………… 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース物件の所有権が借主に移転するものと認められる以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の適用初年度開始前のリース取引については、通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理によっております。

貸 与 資 産…………… 見積り処分価額を残存価額とするリース期間に基づく定額法

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物及び建物附属設備 3年～60年

器 具 備 品 2年～20年

リ ー ス 資 産 3年～5年

貸 与 資 産 4年～7年

無 形 固 定 資 産…………… 定額法

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

リ ー ス 資 産 5年

自社利用のソフトウェア 社内における見込利用可能期間(5年)

の れ ん 20年

電信電話施設利用権 20年

### 3. 引当金の計上基準

- 貸倒引当金……………債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権及び破産更生債権等については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- 賞与引当金……………従業員の賞与に充てるため、支給見込額のうち当事業年度の負担すべき金額を計上しております。
- 債務保証損失引当金……………債務保証に係る損失に備えるため、損失発生見込額を計上しております。
- 利息返還損失引当金……………将来の利息返還損失に備えるため、合理的見積り期間に係る利息返還請求件数の返還実績率、平均返還額等を勘案し、将来返還が見込まれる額を計上しております。
- ポイント引当金……………将来の楽天スーパーポイントサービス制度の利用による費用負担に備えるため、翌事業年度以降に利用されると見込まれるポイントに対する所要額を計上しております。

### 4. 収益の計上基準

収益の計上基準は、次の方法によって部門別に計上しております。

#### (ア) 顧客手数料

- 包括信用購入あっせん……………主として残債方式
- 個別信用購入あっせん……………7・8分法
- 信用保証……………残債方式
- 融資……………残債方式
- 残債方式……………元本残高に対して所定の料率で利息等を算出し、期日経過のつど収益に計上する方法。
- 7・8分法……………手数料総額を分割回数積数の積数で按分し、期日到来のつど積数按分額を収益に計上する方法。

#### (イ) 加盟店手数料

加盟店との立替払契約履行時に一括して収益計上しております。

### 5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

#### (1) 計算書類の作成方法について

当社の計算書類は、「特定金融会社等の会計の整理に関する内閣府令」（平成11年総理府令・大蔵省令第32号）に基づき作成しております。また、「クレジット産業に係る会計基準の標準化について」（通商産業省通達60産局第291号）及び「信販会社の損益計算書における金融費用の表示について」（日本公認会計士協会 信販・クレジット業部会 部会長報告）の趣旨に基づき作成しております。

(2)ヘッジ会計の方法

(ア)ヘッジ会計の方法

金利スワップについては特例処理の要件を満たしておりますので、特例処理を採用しております。

(イ)ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段……………金利スワップ

ヘッジ対象……………借入金

(ウ)ヘッジ方針

借入金の金利変動リスクを回避する目的で金利スワップを行っており、ヘッジ対象の識別は個別契約毎に行っております。

(エ)ヘッジの有効性評価の方法

金利スワップ取引については特例処理によっているため、有効性の評価を省略しております。

(3)消費税等の処理方法

税抜方式を採用しております。

6. 表示方法の変更

(貸借対照表関係)

従来、「ソフトウェア」に含めて表示しておりました「ソフトウェア仮勘定」は、当事業年度において、金額的重要性が増したため、区分掲記しております。

## 【貸借対照表に関する注記】

### 1. 割賦売掛金

部 門 別	期 末 残 高
	千円
包括信用購入あつせん	616,191,613
個別信用購入あつせん	24,295
融 資	98,014,345
計	714,230,254

割賦売掛金の流動化により、包括信用購入あつせん部門の当期末残高が100,000千円減少しております。なお、上記割賦売掛金合計額には固定化営業債権が含まれております。

### 2. 割賦利益繰延

部 門 別	前期末残高	当期受入額	当期実現額	当期末残高
	千円	千円	千円	千円
包括信用購入あつせん	832,973	3,244,530	2,770,177	1,307,327
個別信用購入あつせん	353	82	237	198
計	833,327	3,244,613	2,770,414	1,307,525

### 3. 有形固定資産の減価償却累計額 1,157,939千円 (うち貸与資産減価償却累計額 5,733千円)

### 4. 関係会社に対する金銭債権及び債務

(1)短期金銭債権	42,446,573千円
(2)長期金銭債権	63,000千円
(3)短期金銭債務	4,454,201千円

### 5. コミットメントライン契約

#### (1)貸出コミットメントライン契約

割賦売掛金には、クレジットカードに附帯するキャッシング及びカードローンに対しての貸付金が含まれております。なお、当該貸付金については、貸出契約の際に設定した額（契約限度額）のうち、当社が与信した額（利用限度額）の範囲内で顧客が随時借入を行うことができる契約となっております。当該契約に係る融資未実行残高は、以下のとおりです。

貸出コミットメントラインの総額	2,107,406,230千円
貸出実行残高	49,602,728千円
未実行残高	2,057,803,501千円

なお、上記貸出コミットメント契約においては融資実行されずに終了するものもあり、かつ、利用限度額についても当社が任意に増減させることができるものであるため、融資未実行残高は必ずしも全額が貸出実行されるものではありません。

#### (2)借入コミットメントライン契約

一定の期間において融資枠の範囲内で自由に借入できるコミットメントライン契約を締結しております。

なお、当該借入枠は80,000,000千円で、借入実行残高はありません。



## 6. 担保に供している資産及び担保に係る債務

### (1) 担保に供している資産

割賦売掛金	16,970,926 千円
定期預金	1,000,000 千円
小計	17,970,926 千円
リース契約債権	130 千円
合計	17,971,056 千円

### (2) 担保に係る債務

長期借入金	9,700,000 千円
合計	9,700,000 千円

## 7. 流動化受益債権

割賦売掛金を流動化したことに伴い保有する信託受益権等であります。

## 8. 保証債務

信用保証割賦売掛金及び信用保証買掛金に含まれない

回収代行を伴わない保証取引の残高	284,393,083 千円
債務保証損失引当金	1,072,904 千円
差引	283,320,179 千円

## 9. 不良債権の状況

破綻先債権	3,310,427 千円
延滞債権	9,065,547 千円
3ヵ月以上延滞債権	5,139,410 千円
貸出条件緩和債権	29,878,606 千円
合計	47,393,990 千円

(1) 破綻先債権とは、元本または利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本または利息の取立てまたは弁済の見込みがないものとして、未収利息を計上しなかった債権（以下「未収利息不計上債権」という。）のうち、破産債権、更生債権その他これらに準ずる債権であります。

(2) 延滞債権とは、未収利息不計上債権のうち破綻先に該当しない債権等であります。ただし、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払猶予等、債務者に有利となる取決めを行った債権を除いております。

(3) 3ヵ月以上延滞債権とは、元本または利息の支払が3ヵ月以上遅延している債権で破綻先債権及び延滞債権に該当しないものであります。

(4) 貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、利息の支払猶予等、債務者に有利となる取決めを行った債権であります。

## 10. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

**【損益計算書に関する注記】**

1. 営業収益に含まれる割賦売掛金の流動化による収益

包括信用購入あっせん収益 19,282,453 千円

2. 部門別取扱高

部 門 別	取 扱 高	(うち元本取扱高)
	千円	千円
包括信用購入あっせん	3,447,291,674	( 3,444,079,034)
個別信用購入あっせん	1,727	( 1,642)
信用保証	152,241,776	( 152,241,776)
融 資	105,089,767	( 105,089,767)
リ ー ス	220,107	
そ の 他	51,435,876	
計	3,756,280,930	

3. 関係会社との取引高

営業取引による取引高

営 業 収 益 6,840,934 千円  
営 業 費 用 51,073,042 千円

4. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

**【株主資本等変動計算書に関する注記】**

1. 当事業年度の末日における発行済株式の数 78,649 株
2. 当社が保有する自己株式はありません。

**【税効果会計に関する注記】**

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生 of 主な原因別の内訳

## 繰延税金資産

貸倒引当金限度超過額	2,463,101 千円
資産調整勘定	1,523,309
賞与引当金	113,472
債務保証損失引当金	382,383
利息返還損失引当金	227,200
事業税	154,737
繰延消費税	92,024
未払費用	60,613
ストックオプション負担金	70,477
その他	160,797
繰延税金資産小計	5,248,116
評価性引当額	△84,454
繰延税金資産合計	5,163,662
繰延税金負債	
その他有価証券評価差額金	432,815
その他	45,234
繰延税金負債合計	478,050
繰延税金資産・負債の純額	4,685,612

2. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」が平成 26 年 3 月 31 日に公布され、平成 26 年 4 月 1 日以後に開始する事業年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。

これに伴い、当事業年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用した法定実効税率は、平成 27 年 1 月 1 日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異について、前事業年度の 38.01%から 35.64%に変更されております。

その結果、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）が 278 百万円減少し、当事業年度に計上された法人税等調整額が 278 百万円増加しております。

**【リースにより使用する固定資産に関する注記】**

貸借対照表上に計上した固定資産のほか、ホストコンピュータ及び周辺機器一式等については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。

## 【金融商品に関する注記】

### 1. 金融商品の状況に関する事項

当社は信販事業（包括信用購入あっせん事業（クレジットカード事業）、個別信用購入あっせん事業、信用保証事業、融資事業）を営んでおります。資金運用については短期的な預金等に限定し、銀行等金融機関からの借入のほか、コマーシャルペーパーの発行、社債の発行、債権流動化による直接金融により資金を調達しております。

割賦売掛金に係る顧客の信用リスクは、顧客の契約不履行によってもたらされる信用リスクに晒されております。

借入金の使途は運転資金(主として短期)及び設備投資資金(長期)であり、一部の長期借入金の金利変動リスクに対して金利スワップ取引を実施して支払利息の固定化を実施しております。なお、デリバティブは内部管理規程に従い、実需の範囲で行うこととしております。

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、「2. 金融商品の時価等に関する事項」におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

平成 26 年 12 月 31 日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

	貸借対照表計上額 千円	時価 千円	差額 千円
(1) 現金及び預金	34,376,657	34,376,657	—
(2) 営業債権(*1) 貸倒引当金	723,657,730 △15,748,594		
	707,909,136	715,558,290	7,649,153
(3) 未収入金	67,720,407	67,720,407	—
(4) 固定化営業債権 貸倒引当金	5,179,823 △4,613,949		
	565,874	565,874	—
資産計	810,572,075	818,221,229	7,649,153
(5) 買掛金	109,020,769	109,020,769	—
(6) 短期借入金	190,916,996	190,916,996	—
(7) コマーシャルペーパー	19,500,000	19,500,000	—
(8) 未払金	50,239,196	50,239,196	—
(9) 預り金	64,796,223	64,796,223	—
(10) 社債(*2)	1,050,000	1,042,768	7,231
(11) 長期借入金(*3)	350,489,140	350,594,603	△105,462
負債計	786,012,326	786,110,558	△98,231
(12) 保証債務(*4)	—	2,693,936	2,693,936
(13) デリバティブ取引(*5) ヘッジ会計が適用されているもの	—	(830,018)	(830,018)

(注) (\*1) 営業債権には、割賦売掛金及び流動化受益債権が含まれております。

(内訳)

割賦売掛金 709,050,430 千円

流動化受益債権 14,607,300 千円

合計 723,657,730 千円

(\*2) 社債には、一年以内償還予定の社債が含まれております。

(\*3) 長期借入金には、一年以内返済予定の長期借入金が含まれております。

(\*4) 保証債務残高及び保証債務引当金については、貸借対照表注記 8 に記載しております。

(\*5) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については ( ) で表示しております。

### (1) 金融商品の時価の算定方法並びにデリバティブ取引に関する事項

#### ① 現金及び預金

現金及び預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

②営業債権

営業債権は、商品種類や対象顧客に基づく類似のキャッシュ・フローを生み出すと考えられる単位毎に、将来キャッシュ・フローを市場が要求する期待収益率で割り引くことにより時価を算定しております。なお、残存期間が一年以内のものは、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

③未収入金

未収入金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

④固定化営業債権

回収見込額に基づいて貸倒見積高を算定していることから、時価は決算日の貸借対照表価額から貸倒引当金を控除した金額としております。

⑤買掛金

買掛金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑥短期借入金

短期借入金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑦コマーシャルペーパー

コマーシャルペーパーは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑧未払金

未払金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑨預り金

預り金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑩社債

社債の時価については、将来キャッシュ・フローを市場が要求する期待収益率で割り引くことにより時価を算定しております。

⑪長期借入金

長期借入金の時価については、借入毎に区分を行い算定しております。変動金利によるものは短期間で市場金利を反映し、また、当社の信用状態は実行後大きく異なっていないため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。固定金利によるものは、将来キャッシュ・フローを市場が要求する期待収益率で割り引くことにより時価を算定しております。流動化スキームに係る長期借入金の時価については、同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引くことにより時価を算定しております。なお、残存期間が一年以内のものは、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。また、金利スワップの特例処理の対象とされた長期借入金（「⑬デリバティブ取引」参照）については、その金利スワップ前の変動金利として時価を算定しており、当該帳簿価額によっております。

⑫保証債務

契約上の保証料の将来キャッシュ・フローを算定し、債務者の信用リスク等を控除したものを現在価値に割り引く方法により時価を算定しております。

⑬デリバティブ取引

注記事項「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。

**【デリバティブ取引に関する注記】**

- ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引  
該当なし
- ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引  
金利関連

ヘッジ会計の方法	取引の種類	主なヘッジ対象	契約額等 千円	うち1年超 千円	時価 千円
金利スワップの特例処理	金利スワップ取引 支払固定・受取変動	長期借入金	72,097,690	54,095,370	△830,018

(注) 時価の算定方法

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

**【関連当事者との取引に関する注記】**

- 親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 千円	科目	期末残高 千円
親会社	楽天㈱	被所有 直接 100%	資金の調達 役員の兼任	支払ポイント付与料	42,931,066 (*1 *2)	未払金	3,844,294 (*2)
						ポイント引当金	4,937,139
				資金の返済	13,563,000	一年以内 返済予定の 長期借入金	-
						長期借入金	-

(取引条件及び取引条件の決定方法)

(注) (\*1) 支払ポイント付与料

支払ポイント付与料は、カード利用者及びカード会員入会者に対しポイント付与を行った対価の金額に基づき、双方協議の上決定しております。

(\*2) 取引金額には消費税等が含まれておりません。期末残高には消費税等が含まれております。

- 子会社及び関連会社

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 千円	科目	期末残高 千円
子会社	楽天 カード サービス㈱	所有 直接 100%	収納業務の 委託 役員の兼任	収納代行	3,321,482,310	未収入金	41,716,947
				業務委託手数料	3,059,896 (*1 *2)		

(取引条件及び取引条件の決定方法)

(注) (\*1) 口座振替手数料の実額に基づき、楽天カードサービス株式会社との協議の上決定しております。

(\*2) 取引金額には消費税等が含まれておりません。期末残高には消費税等が含まれております。

### 3. 兄弟会社等

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 千円	科目	期末残高 千円
親会社の 子会社	楽天銀行(株)	なし	債務保証 業務委託 資金の調達 役員の兼任	債務保証	270,840,132	-	-
				保証料収入	12,697,752 (*1)	未収収益	1,187,143
				支払利息	5,175,271 (*2)	未払費用	473,678
				債権の流動化 (オンバランス債権)	282,978,792 (*3)	短期借入金	170,016,996
一年以内 返済予定の 長期借入金	199,821,729						
長期借入金	37,909,720						
親会社の 孫会社	トランスパリュ 信託(株)	なし	金銭債権 の信託	金銭信託	14,065,300	流動化 受益債権	14,065,300

(取引条件及び取引条件の決定方法)

(注) (\*1) 保証料収入

保証料収入は、一般的に採用される保証料率を勘案し、双方協議の上、決定しております。

(\*2) 支払利息

支払利息は、長期借入金に関する支払利息であり、市場金利を勘案し信託契約条項に基づき料率を決定しております。

(\*3) 債権の流動化(オンバランス債権)

債権の流動化(オンバランス債権)は、ABL方式による資金調達の為の割賦売掛金であります。

### 4. 役員及び個人主要株主等

属性	会社等の名称	事業の内容 または職業	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 千円	科目	期末残高 千円
親会社の 役員が議 決権の過 半数を自 己の計算 において 所有して いる会社	(株)クリム ゾンフット ボール クラブ (※)	サッカー競技 等の興行の企 画・実施等	なし	広告委託	広告宣伝費	34,583 (*1 *2)	前払費用	3,149 (*2)

※当社親会社の代表取締役である三木谷浩史が、議決権の100%を間接保有しております。

(取引条件及び取引条件の決定方法)

(注) (\*1) 広告宣伝費

広告宣伝費は、株式会社クリムゾンフットボールクラブが希望価格を提示し、実勢価格を参考に双方協議の上、条件を決定しております。

(\*2) 取引金額には消費税等が含まれておりません。期末残高には消費税等が含まれております。



**【1株当たり情報に関する注記】**

1. 1株当たり純資産額	696,002円59銭
2. 1株当たり当期純利益	83,815円68銭

**【重要な後発事象に関する注記】**

該当事項はありません。

## 【子会社設立に関する注記】

台湾楽天信用卡股份有限公司の設立

当社は、平成 26 年 6 月 18 日付で台湾に台湾楽天信用卡股份有限公司を設立しました。

### 1. 子会社設立の目的

日本で成功した楽天のロイヤリティ・プログラムである「楽天スーパーポイント」が貯まるクレジットカードのビジネスモデルを台湾において展開することを目的としております。

### 2. 設立会社の状況

商号	台湾楽天信用卡股份有限公司
所在地	台北市中山區民生東路 3 段 49 號 7 樓
事業内容	クレジットカード及び附帯するサービス
代表者の役職・氏名	董事長兼總經理 石井 英治
設立年月日	平成 26 年 6 月 18 日
出資年月日	平成 26 年 6 月 3 日
資本金	300,000 千新臺幣
出資比率	当社 100.00%